

喪失体験をした子どもを地域で寄り添い支えるために、私たちができること

子どもへのグリーフサポート

8人の専門家・実践家からグリーフケアを学ぶ

公開講座

日時 | 2019年11月2日(土)
10:00~12:00

場 所 | 仙台市市民活動サポートセンター(仙台市青葉区一番町4-1-3)

対 象 | どなたでも参加可 定 員 | 50名(要申込:裏面参照)

参加費 | 一般受講者 3,000円 個人会員 1,000円

グリーフケアの
担い手養成講座
1日コース

10:00~17:00

本講座は、午前を公開講座、午後をグリーフケアの担い手養成講座としております。グリーフケアの担い手養成講座は、6月から全10回のテーマで開講している講座ですが、単発の受講も可能となっております。各テーマについてより深く学べる内容になっておりますので、関心のある方は1日コースの受講をお勧めいたします。

参加費 | 一般受講者 10,000円 個人会員 8,000円



講師紹介

佐藤 利 憲 当法人副代表

公立大学法人福島県立医科大学看護学部講師

NPO法人ReLink代表

NPO法人子どもグリーフサポートステーション理事

精神科病院で看護師として従事した後、2010年から大学教員。2015年から現職。2008年から子どもと保護者のメンタルヘルスに関する支援をはじめ、子育て支援および小中学校教師との医教連携を実践する。2010年に東北初の遺児支援プログラムを仙台で開催し、初代プログラムディレクターを務める。2017年にNPO法人ReLinkを設立。現在、遺児支援のほか、子育て・子ども支援、自殺予防教育、発達障害のある子どもと家族への支援など、子どものメンタルヘルスに関する支援、および普及・啓発活動を全国で行っている。

講師から一言

死別は誰もが体験するととても大きな出来事です。しかし、死別体験をした子どもの対応に苦慮することは少なくありません。よかれと思ってかけた言葉や何気ない態度によって子どもを傷つけてしまうこともあります。本講座では、死別体験をした子どもの心理的な特徴や支援の現状を紹介し、子ども自身がここに丁寧に触れ、折り合いをつけていく過程をどのように支えていくのかについて一緒に考えていきたいと思います。

申込方法：

各講座の**前日**までに、**NPO法人仙台グリーフケア研究会事務局**へ ①電話、または②メールにてお申し込みください。

- ① Tel: 070-5548-2186 ② メール: grieffoffice@gmail.com
- ・メールでお申込みする際は、件名に【〇月〇日公開講座申込み】、本文に【氏名・所属・連絡先（電話番号またはメールアドレス）】を明記の上、御送信ください。
 - ・**グリーフケアの担い手養成講座**に関するお問合せ・ご相談等も随時受付けております。

日時	テーマ / 担当講師	会場	定員
6/9	悲嘆学・喪失学 / 坂口幸弘（関西学院大学）	済	
8/4	スピリチュアルケア・宗教学 / 谷山洋三（東北大学）	済	
9/28	ナラティブアプローチ / 生田かおる（横浜国立大学）	済	
10/14	トラウマとグリーフ / 中谷三保子（帝京平成大学）	②	50
11/2	子どもへのグリーフサポート / 佐藤利憲（福島県立医科大学）	①	50
12/7	わかちあいの会の実際 / 黒川雅代子（龍谷大学短期大学部）	①	50
1/12	緩和医療の現場におけるグリーフケア / 当法人スタッフ	未定 (調整中)	
3/7	ケアする人のケア / 瀬藤乃理子（福島県立医科大学）		

① 仙台市市民活動サポートセンター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3

- ・JR「仙台駅」西口から徒歩14分
- ・地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ
- ・地下鉄東西線「青葉通1番町駅」北1番出口 徒歩6分

② 仙台市医師会館 5階研修室

〒984-0806 若林区舟丁64-12

- ・地下鉄「河原町駅」北1出口 徒歩3分
- ・市営・宮交バス「舟丁」から仙台駅方面バス停から徒歩1分、長町方面バス停から徒歩3分

③ 仙台市立病院

〒982-5802 太白区あすと長町1-1-1

- ・地下鉄南北線「長町一丁目」下車 南2市立病院方面口より徒歩3分
- ・JR東北本線「長町」下車 東口より徒歩8分
- ・仙台市営バス・宮城交通バス 「市立病院（敷地内）」または 「市立病院入口」下車

本講座のお問い合わせ・ご相談・ご質問等は、下記までご連絡ください。

NPO法人 仙台グリーフケア研究会 事務局

電話：070-5548-2186 メール：grieffoffice@gmail.com

